

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	松阪市プラザ鈴第2回運営委員会
2. 日 時	平成30年3月9日(金) 午後1時30分~午後2時30分
3. 場 所	松阪市本町2169番地 松阪市プラザ鈴 2階 大講義室
4. 出席者氏名	別紙議事録のとおり
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	なし
7. 担 当	松阪市本町2169番地 松阪市プラザ鈴 電 話 : 0598-53-4486 FAX : 0598-23-4750 e-mail plaza.suzu@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. プラザ鈴の閉館について
2. その他

議事録

別紙

第2回松阪市プラザ鈴運営委員会議事録

日時 平成30年3月9日（金）
午後1時30分
場所 松阪市プラザ鈴2階大講義室
出席委員数6人

【出席委員】

坂井委員 松村委員 田上委員 梶間委員 光永委員 藤川（敏）委員

【事務局】

吉田環境生活部長 西人権・男女共同参画課長
永田人権・男女共同参画課プラザ鈴館長 金谷人権・男女共同参画課プラザ鈴主任

1. 挨拶

吉田環境生活部長より挨拶

2. 議題

(1) プラザ鈴の閉館について

経過報告

(事務局)

簡単に当館の閉館に至る経緯を説明させていただきたいと思います。当館は昭和60年4月19日に働く婦人の家として、愛称はその当時からプラザ鈴という名前がついていましたが、女性の職業生活や家庭生活を支援するための施設として開館し、平成10年からは男女共同参画意識を育てる拠点としての事業も実施してきておりました。平成14年4月には市の組織改革によりまして、商工部から市民生活部の男女共同参画室の外部組織となりました。現在は、環境生活部の人権・男女共同参画課が主管となっています。

閉館に至る理由としては、時代の変遷とともに利用者数が半減してきており、施設は建設から32年が経過している状況のなかで大規模修繕が必要な時期となっていており、エレベーター、多目的トイレなどのバリアフリーに対応していない状況であり、これらの整備に多額の費用が想定されること、こちらの土地は商店街から借用している状況がございまして、土地の賃借料の負担が生じることなどを考慮しまして、施設マネジメントの観点から総合的に勘案してプラザ鈴を閉館する。そして働く婦人の家の機能を廃止するという判断に至ったものでございます。このことは丁度、2年程前の平成28年3月に開催した運営委員会にてご説明させていただきまして、その後、こちらの方に

通っていただいている講師、講座生に説明会を開催し、各講座やグループの今後の活動についての調査を実施し、活動場所の調整とか移行の調整を行ってまいりました。後ほど、講座、グループの活動場所、移行状況についてはご説明させていただきますが、今月末の閉館の日が近づいている状況ということでございます。

平成29年度事業実施状況

続きまして、平成29年度の事業実施状況といたしまして、事項書のP2、P3をご覧ください。P2の方はプラザ鈴の主催講座ということで、こちらの方に一覧を挙げさせていただきました。4月以降12月までの間に9つの事業を行わせていただきました。

毎年、商業簿記入門、30回のを4月から11月の検定まで、こちらの部屋で定員24名ということで毎週月曜日の夜、3級の検定をめざして学んでいただいた。

楽しい男の料理もこれも長く続いていたが、男性の方には是非料理をということで、梶間先生にお願いしておりまして、4月から9月まで、10月から3月まで前期、後期に分けて定員20名で募集をさせていただいたのですが、前期は21名の応募があり、後期は20数名の方の応募がありましたので、後期については抽選で20名ということで男性の方に通っていただいて月1回火曜日の午前中に料理を学んでいただいたということです。その後は運動ですとか、いろんな講座をさせていただいたものですが。

筋肉と関節を整える運動と講話、毎年、平岡健康開発研究所の平岡先生と竹田先生にお世話になっておりまして、健康に関するお話とか運動をしていただいた。5月17日と5月27日の2回、午前中と夜に分けて今年は4回行わせていただきました。

浴衣の着付けと帯結びですが、これも毎年、着付けの長野先生ですね。夏、祇園前に浴衣の着付けと帯結びということで6月、7月の2回、夜に14名の方に参加していただいて、浴衣の着方を学んでいただきました。

ベトナム料理を楽しもう！ということで市内在住のベトナム人の奥さんで山口ゴックンさんという先生にお願いして9月に生春巻きとカニスープを皆さんに作っていただいた。

夏休み親子講座でアイシングクッキーにチャレンジということで、パン・菓子作りの講師、鳥海先生に7月、8月の夏休みの期間を利用して小学校のお子さんとお母さんに参加していただいた。10組ということで2回させていただいた。こちらも沢山の方に来ていただきました。アイシングクッキーというのは、粉砂糖、卵白、着色料を混ぜたクリームでクッキーに装飾をしていただくもので、思い思いの絵を描いてお子さんが楽しんでいただいたということです。きれいな飾りをしていただいて夏休みの思い出になったかなと思います。

筆ペンを使った簡単実用書道ということで、毎年、渡邊先生にお願いしております。今回は4日間、夜に皆さんに通っていただいて16名の定員で募集しましたところ、沢山の方に応募していただきましたので、抽選で16名の方に参加していただいた。

前川料理教室の先生に旬の食材を使った秋のおもてなし料理ということで、11月14日に中華風のおこわと中華風のかきたま汁、デザートはリンゴのカaramelソースを作っていただいた。

フラワーアレンジメントの下井先生にお願いして、お正月用のフラワーアレンジメントということでお正月を彩る華やかな作品を作っていただきました。こちらも定員一杯の24名の方に参加していただいた。P3にはその時の風景の写真が白黒で小さいですがありますので、様子がうかがっていただければかなと思います。

育成講座等の移行状況

続きまして育成講座の方に入らせていただきます。P4に一覧を挙げさせていただきます。29年度当初、18種類の講座があります。朝と夜、昼と夜と同じ講座でも参加者が違うものがありますので、全部で24講座。29年度4月の時点では24講座で活動がスタートしておりました。一番上の手編みが9月までで10月からは神戸公民館に移られたということで現在は23講座の方が3月一杯まで活動していただいている状況。

P5は自主運営で館を利用していただいているグループの一覧です。全部で11グループを記載させていただいております。4月当初は10グループでした。一番下から3つ目のところに自主簿記と記載させていただきました。こちらは毎年毎年、3級の講座に合格された方が自主的に集まってこの館を利用していたのですが、今年度の当初はこちらを利用しておりませんでした。場所が無くなったということで、ここを利用したいということで期間限定で6月から11月の間まで利用していただきましたので、11グループと挙げさせていただきます。後ほど、この育成講座と自主グループの移行先、今後の状況は説明させていただきます。

P6はプラザ鈴よならイベントでございます。平成30年1月28日(日)に当館で開催いたしました。最初に竹上市長の方から、長年講座の運営に献身的にご尽力いただきました育成講座の講師の皆様ということで平成28年当時、5年以上長く講師を務めていただいた方ということで対象の先生は20名いらっしゃいました。ご出席いただいた先生は18名。お一人お一人に市長の方から感謝状を贈呈していただきました。その後は4階軽運動室で引き続いて松阪ミュージックファクトリーによるミニコンサートを30分程していただきました。

その後は講座生による舞台発表、作品展示、お茶席を皆さんに楽しんでいただきました。プラザ鈴の33年の歩みを振り返るスライドショーは、開館当初からの懐かしい写真の数々をスライドショーという形でこのお部屋でプロジェクターで鑑賞していただきました。

物品販売は、3階ロビーで長年お世話になっている向野園に来ていただいて、チーズケーキやクッキー等を販売していただき、人気を集めておりました。

当日は雪がちらつき、本当に寒さが厳しい日ではございましたが、来場いただいた皆様は総数で530名の方にご来場いただきました。

P7はプラザ鈴の利用状況ということで、上のIの表は平成29年度の2月までの11ヶ月の利用状況をまとめたものです。

講座といたしましては、先ほどから主催講座、育成講座、自主グループの利用者の数ということで女性、男性別に挙げさせていただいております。

講座にご参加いただいた時に昼間の場合には託児ということで、小学校に入られるまでの2歳以上のお子さんで、ご希望の方についてはお預かりさせていただきました。託児は41名のお子さん、延べという数字になりますが、お預かりをさせていただきました。その下は相談ということで、若者の自立相談。今日も来ていただいておりますが、そちらの方の利用者86名。プラザ鈴の方で対応させていただいております女性なやみごと相談9名ということです。さようならイベントは530名ということでしたので、2月末までのこちらの利用者数の合計は8,394名ということでございます。

下の表は利用者の動向ということにしておりますが、男女別に平成27年度以降の働いている女性であるとか、男性であるとか、家庭に入ってみえる女性であるとか男性であるとかの利用者数をもう一度数えなおした形の表にさせていただきます。

利用者数は27年度で1年間12,384名あったものが、28年度は11,857名、

2月末現在ですが29年度は8,394名となっております。

P8は開館当初から29年度は2月末まででございますが、年度別の延べの利用者数の表でございます。昭和60年度の開館当初は10,325人、翌年度になると、16,536人に増えました。平成6年度には20,000人を超えまして、20,030人。平成15年度は25,318人でピークとなりました。その後はほぼ毎年減少してきて、平成26年度には12,640人となりましてピーク時の半分以下の利用者数となっております。一覧を参考につけさせていただきます。

P9、P10に移らせていただきます。

まずP9の方が28年度から29年度の育成講座、自主グループの移行の状況を一覧にさせていただきます。

少し分けさせていただいておりますが、上が育成講座。28年度当初、32グループありました。下の方が自主グループとして28年度当初、左端に数字を書かせていただいておりますが、28年度は19グループありました。閉鎖をすると決定した当初、育成講座32、自主グループが19の合計51講座・グループあったものが、現在、29年度としましては育成講座23、自主グループとしては10グループに活動していただいております。講座名、グループ名が書いてありますが、その横には今後どうされるのかということを決定事項として書かせていただきました。

個々に順番にいきますと、松阪公民館に行かれるところが結構あるのですが、近隣の神戸公民館、伊勢寺公民館、地理的には少し遠くなりますが、他の公民館であるとか、殿町中学校の体育館を利用するとか、ワークセンター松阪などの施設を利用するということもあります。

移行先別にまとめさせていただいた表がP10になりますので、そちらを見ていただきますと、上の方から元々51グループあったので、その51グループがどこへ行ったということでの表となっております。

一番上ですが、松阪公民館に行きたいというグループですが、マームと書かせていただいております。こちら、4月に松阪公民館は現在の殿町の場所からショッピングセンターマームの方に移動しますので、そちらの方にいかれるグループということで、一番上の着付けと作法(昼)ですがこれはすでに今の松阪公民館に29年4月に移ってみえますので、そのままマームに行かれて活動をされるということです。

それから、自主琴、エアロビクス、金曜3B、陶芸、茶道の昼・夜、自主茶道という8グループがマームの方に行かれます。

この近くにあります第一小学校の講座室を利用されるということで、そちらを希望されているのが、フラワーアレンジメントの朝と夜のグループ、ソフト3B体操、太極拳の4グループです。

その下は近隣の第一公民館、パッチワークの鈴パッチというグループ。すでに28年11月に一番早くに移行を決められたグループです。それから尺八のグループ。

この4月になりますが、和囲布というパッチワークのグループが第一公民館に移られます。ソネットはフォークダンスのグループで第一公民館の方に移られます。

第二公民館の方には、かたかご句会という俳句のグループは29年4月から移行していただいております。

幸公民館の方には中国語のグループ、29年1月から移っていただいている。

神戸公民館の方にはハングル同好会が同じく29年1月に移っています。手編みのグループは10月に移られております。

家庭料理のグループの方は4月に神戸公民館に移られるということでございます。

伊勢寺公民館には29年4月から和裁の育成講座と、自主グループの和裁が移られま

した。

第一隣保館には29年4月から押し花作り、自主3B体操のグループさんがすでに移っています。

ワークセンター松阪という施設には29年4月から写真のグループが貸館という形で借りて利用されてみえます。

卓球は4階軽運動室で活動してみえますが、なかなか公民館では出来ない状況があり、殿町中学校の体育館を夜間に借りられるということで4月から卓球のグループはそちらで活動されることとなります。

その下は講師の先生のお宅や教室へ行かれるということで決められました。

一番上は前川料理教室の講師のご自宅へということで、29年4月にヘルシー・スピーディクッキングの方がすでに移ってみえます。

そこから下は4月からということになりますが、ヨガの2グループ、着付けの夜、二葉流の昼と夜、池坊の昼と夜、パンと菓子の朝と夜ということで10グループの方が先生のお宅で教室を続けられるということになりました。

最後に8グループありますが、ここの閉館とともに終わりにしますということです。自主簿記は11月までの利用でしたので、終了といいましても違う形ではありますが、その後の7グループにつきましては、インターナショナルダンスはフォークダンスのグループ、ピンポンは女性の卓球のグループでした。

初級ウクレレ、ウクレレ、フィットネス、スリムフィットネス、エアロビクスの少しやさしい体操のグループです。若葉クラブは卓球グループでした。卓球のグループは継続して同じような形で利用出来る場所がありませんでしたので、継続が出来ないので終了していただくという形になりました。

以上のような形でプラザ鈴を利用していただいていた皆さんの今後につきまして、報告させていただきたいと思います。

副委員長

事務局の方から経過報告と育成講座等の移行状況についてP2からP10までご説明をいただきました。沢山の資料ありがとうございました。

それでは2つぐらいに区切って、まず前半の経過報告について、P2からP8までで何かご質問やご意見はありませんでしょうか。

最後の年度ということで人数がだんだん減ってきてはいるということですが。

例えば、P6のプラザ鈴さよならイベントですが、私も開会から出させていただいたのですが、ここにみえます委員の方で講師をしていただいている先生は指導歴5年以上、もっとあると思うのですが、感謝状をいただいて本当に皆さんのために尽くしていただいたと思ったわけですが、感謝状をいただいてその時の様子とかいかがですか。

委員

私どもの教室は全部で20名。その年によって21名の時もあったのですが、皆さん、和気あいあいと出てくる機会が1回増えたという感じで、今日作ったものをお家で作ってあげる楽しみというものもあったみたいです。そのままそっくり、この4月からワークセンターの方へ行くようにということで、皆さんこぞって参加してもらうようになっています。本当にこの会館を長いこと使わせていただいて皆さんも私も生き生きとさせていただきます。本当にありがとうございました。

委員

私は3～4年前から先生から引き継がせていただいてやらせていただいたのですが、昼も夜も結構利用者の方がみえまして、やはり場所的な問題で出来たらここで続けて欲しいという希望が多かったのですが、いざとなつて、今まで公共的なものを使わせていただいていたので、そういう所の方が望ましいだろうということでマームの方へ移動させていただけるということで。

ただ、残念ながらお茶の場合は、冬場は炉が必要なんですけど、なかなかその辺を切ってもらえないという。今すぐは無理でもここに炉を切ったものがありますので、とりあえず私が預かっておいて、いずれそれを据えていただける機会があれば、そういうものをやはり設置していただきたいなというふうに思っています。

やはり松阪というのは蒲生氏郷が開城、お城を築かれて、蒲生氏郷というやはり、利休さんの第一人者というような立場でお茶をやってみえたということで。現在、だんだん、機能的なことが多くなって一般の家庭でも床の間がない、畳の無い部屋というのが、それが当たり前になりつつあるので、むしろそういう日本古来の文化を守っていききたいなと思っております。そういう意味でも将来的に市役所の方でも考えていただいて、炉を一つ切っていただきたいなというふうに思っております。

副委員長

ありがとうございます。マームに畳の部屋はあるのですが。

委員

今度の所に畳の部屋はあるのです。ただ24畳という広い部屋であるので。出来たら仕切りたいということと、炉を切っていただきたい。それはすぐには無理みたいなので、いずれそういう要望はおりがある毎に希望として言っていこうかなと思っております。

副委員長

何か衝突とか何というか仕切りを置いて。

委員

当初はそういうことでやっていかないといけないかなと思っております。本当はここみたいに襖でね、襖というのはやはり便利で外せば大広間に使えるという部分が、それが日本の文化だと思うのですが。細かく区切ってしまうのではなくて。そういう風にしていただきたいという要望を出したのですが、一つの講座にそういうことは難しいということで。今にも言いましたように松阪は特に蒲生氏郷がこういうことで、私も今は女性の人が多いですけども、お茶をされるのは。私も武士がなんでお茶をやっていたのだろうと。明治までは男性の文化です。明治になって女性の地位の向上ということでお茶を女学校で教えだしたのが取り入れられて今は女性の方が多いですけども。日本の大切な文化ですからそれを継続していくということは難しいと思うのですが、ちょっと不便ですが、マームの方でやらせていただけるということで、使い方を工夫していこうと思っております。

副委員長

伝統を守り、また松阪の人がお茶を好んでいるということで、是非続けていただきたいと思うのです。隣の方、今までP8までで何か質問はありませんか。お聞きになって。

委員

利用者の平均年齢はどうか。

事務局

平均年齢はなかなかしっかりとしたものはとれないのですが、平均年齢は60歳以上が70%ぐらいでしたので。現役の方とか新しい方の定期的な講座への参加というのはなかなか少なく。主催で単発でさせていただくものには定員も20名ぐらいしかいないため、そこへは集中する部分もあったのですが、定期的な育成講座等には同じ方が大体、半年毎に募集をさせていただいていたのですが、同じ方が通っていたという状況でしたので、どんどんと年齢が上がってきたということです。

副委員長

今までのお話を聞かれてどうですか。

委員

利用状況の方で相談というのがあって、若者就労相談、女性なやみごと相談、例えば結構ですので、どんな相談がきておるかを知りたいのですが。労働基準監督署ですので関係の相談がこちらへ来ているのかどうかというの一番知りたいということで。

事務局

若者就労サポートステーションですね。そちらの方から出張相談ということで、場所を使わせていただいて、松阪市内とか近隣の年齢が34歳ぐらいまでですかね、若者の就労とか自立に向けての相談をご本人であるとか家族の相談を受けていただいていたということです。

委員

ありがとうございます。

副委員長

本当に33年間の歩みの中で、本当に沢山の人がこれを生きがいにされたり励みにされたり、次のエネルギーにされたり、生活を潤したり、いろいろとここの存在価値があったと思います。33年間の年間の利用者合計はどれぐらいなるかは分かりませんが、さよならイベントの時に思い出の写真スライドショーをされたのですが、あれは何分間でした。

事務局

約30分位のもので。

副委員長

もし、長いから今日のこの最後の運営委員会では無理かなと思ったのですが。あれを私も途中から途中まで見させていただいたのですが、本当に皆さんこんなことをしたり、笑顔のいい写真が多かったので、こんなに楽しみして来たり、沢山の人がこれに参加して自分の生活の豊かさを味わったり、いろんなことをしてみえて、あのスライドショー

はすごくいろんなありとあらゆる場面を撮ってあったので、上手く出来ていましたね。編集が。素晴らしい。建設当時から現在までを上手くまとめてみえました。先生のしぐさとか生徒さんのしてみえるところとかいろんな場面が出ていたのですが、あれは何かCDか何かにしてあるのですか。

事務局

データ量が多いのでCDにはせず、パソコンの本体に保存してあります。

副委員長

スライドショーみたいにして。

事務局

300枚ぐらいスライドがありますので。昔の写真をもう一度、今のデジタルカメラで撮り直してデータにしたということです。

副委員長

あれは本当に感動しました。ここの部屋で帰りに見せてもらって。それだけ沢山の方がこのプラザ鈴、前は働く婦人の家をご利用していただいて、ここの目的に添った活動をしてみえたんだなと思って感動させていただきました。また、どなたかに見せていただけたら、あれは一回ではもったいないです。

今も先ほど、委員さんから来年度の移行状況についても話していただきましたが、ここについて何かご意見やご質問はありませんか。P9からP10です。

行くところが皆それぞれ決まって良かったですね。これだけの沢山の講座がどこへかわりなさるかと思って前回の時に気になっていたんです。また、茶道なんかは炉のことを言われると行くところがないし、料理の方は台所の水回りがきちんと出来ていたところがとったりいろいろと考えて心配していたのです。本当の話。今日、一覧表を見せてもらったので、どこそこに行っていたらまた始まるのかなと。またあの人達、喜んでみえるのかなという気がするのですが。何かこれについてないでしょうか。主催講座が無くなるのはちょっと。

事務局

主催講座は人権・男女共同参画課、主管課の方で同じ数とはいかないのですが。2ページで紹介させていただいたのが主催講座ですが。

どんな形になるかはまた考えさせていただきますけども、引き続きこちらの方で活動の方をしていこうかなと思っております。30年度に向けて検討しております。

副委員長

また、場所と広報とかいろいろところでチラシも出ると思うのですが、主催講座と育成講座が、それぞれがもう、これがなくなるとね。

簿記もどうです。こんなに沢山の人が参加されて3級を取られてしてみえるのにこれも無くなるわけですね。これから若者が取ろうと思っている。意欲のある子たちが、若者が。若い人が多いでしょ。やはり。

事務局

他の講座に比べれば現役、20代、30代の方、勤めてみえる方ですね、3級の資格を取りたいということでもみえました。ただ、引退された方もみえまして、目的はいろいろだったと思います。現役の方が参加してみえたのは、確かに商業簿記は多かったです。ただ、30回ですね、検定が年に3回あるのですかね。11月の検定を目指して4月から11月の間、毎週毎週30回、この館があったので、女性に限らず、男性の方も資格を取りたい方に支援をこういう講座を開かせていただくことが出来たのですが、この講座に関しては、他施設でする場所が無いということで。簿記の資格を取ろうとすると民間ですと確かに高額な費用がかかるとは思いますが、全く無いわけではないとは思いますが、この機会に市の方の支援を終わらせていただくという形にさせていただきました。この他料理では、男性の方とはちょっと形は違いますけども、親子の料理教室であるとか、男女共同参画を目的とした事業という形では来年度以降も引き継いで計画させていただく予定です。

副委員長

是非、この主催講座で形は変えてもそういうことが出来るといいなと思うのですが。楽しい男の料理ってこれ、どうです。この人達は去年も続いて来ていただいている人もありますよね。

委員

ずっと何年来、やはりお料理は半年習ってこれで終わりということではありません。一緒のものは使わないので、いろんなものを使いながら、地場のものを使ったり、私も家で少し畑をしているので、それを持ってきて、これは我が家で取ってきたんやわと。朝、摘んできたんやわと話をしながら、させてもらっているのです。

副委員長

この人達、男の人はこちらの…。

委員

皆さん、こぞってワークセンターに移らせていただくのです。

副委員長

ワークセンター。

委員

この主催講座を自主講座にさせてもらって、私が向こうでさせてもらおうということにしたのです。それによって、今までプラザ鈴でさせていただいていたが、金額的にも負担金がこれでは少ないものがあるので、貸館で100円、200円アップするかもしれませんがそれでもよろしいですかと言ったら、「100円、200円はどうってことない続けて欲しい」と言われて。でも、やはり市の主催でやってもらったのは本当にありがたかったということを書いてみえました。

副委員長

ここの移行の一覧には書いていないが、そういうふうな。

委員

会場を取ることが出来て、そこまで行きますと言われて。

委員長

つながりがずっとあるのですね。本当に別れがたいプラザ鈴で、本当にここを利用した人が残念やな寂しいなとかいう声も聞こえますので。こうして先生と生徒さんが相談しながら、次に繋がっていったという話を聞いてとても嬉しいです。良かったなと思います。

委員

今晚の夜の部もさせてもらうのですが、この主催講座は第一の火曜日でさせてもらったのですが、ここの施設で最後と言うことで、お料理をしてその後、お茶、ケーキで最後に皆と別れたのです。また新たに向こうでしますので、一応、区切りとしてそういう形をとらせていただきました。館長さんにもお話をさせていただいて、名残惜しい話をさせていただいたのです。

副委員長

本当になんとか最後の時というのは寂しいような思い出されることが多いと思いますが、ありがとうございます。それではここまでのご意見については終わらせていただきまして、その他の解体工事のスケジュールの説明をお願いします。

3. その他

・解体工事のスケジュールについて

事務局

解体工事のスケジュールとしましても、本当に簡単な状況しか今はご説明が出来ないのですが、4月ですね、30年度に入りましたら、松阪市の営繕課と建築の担当の方に工事依頼を行いまして、工事の設計等がございます。入札が行われまして、業者が決定します。契約が完了しまして、8月から解体工事に入れるようにという計画でおります。12月中には終了出来るようにということで、5ヶ月間解体工事の期間を予定させていただいておるということでございます。

ですので、工事に入るまでは下の駐車場は、よいほモール商店街さんの駐車場ですが3月で閉めさせていただいても、駐車場は立っている間は普通に使っていただけますが、解体工事が始まるとなると、大方の部分が解体工事のために駐車場は利用出来なくなる予定でございます。

副委員長

8月から12月までが解体工事で、12月になったらここが更地になって駐車場になるけども、よいほモールへお返しするということですね。これについてまだお聞きしたいことはありませんか。本当にやむをえないことばかりで次から次へと起こってきますけども、別れを惜しみながらもまた次に新たな梶間さんが言われたように次の一歩があると思うと楽しみです。その他、委員の皆様、これで議事を終わらせていただきますが、何かございませんでしょうか。事務局の方は何か。

事務局

先ほども松阪公民館が松阪ショッピングセンターマームへ移転するというので、申し上げたのですが、松阪市の広報の3月号に載っていましたので、ご覧になられた方もあるかと思いますが、紹介させていただきます。松阪ショッピングセンターマームの2階の方に松阪公民館が移転します。4月1日の日曜日にオープニングのセレモニーがあります。4月1日午後2時からです。午後2時30分から1時間は記念講演で、講師は切磋亭琢磨さんの寄席で、「寿、限り無し 寄席一笑う門には福来る一」です。オープニングセレモニーがありまして、4月2日の午前8時半からは通常業務として松阪公民館がマームの方でオープンするという事です。

そして、第一小学校の講座室の一室が松阪公民館の分室のような形で使用出来るようになるのですが、そちらの方も利用開始日が4月2日からと聞いております。よろしければ松阪公民館の方にもお出かけいただければと思います。

副委員長

それでは、運営委員会の議事の最後で、委員長、いろいろな思いがあるかと思いますが、よろしくお願ひします。

委員長

自分の不覚で今日は帽子を被っております。昨日、一昨日に退院してきたばかりです。自分も勤めておりまして、丁度、途中で、男の料理教室が始まる少し前からここへ参加させていただいたのですが、勤めている時には毎日が忙しく過ごしておりまして、これは何の建物かなど。ただ、婦人の家という名前は聞いておりました。それが途中、プラザ鈴という形に変わってきたわけです。働く婦人の家として建てられたこの建物、入ってみてまず驚いたのが、男性トイレが無いのですね。女性専用の館のような気がしてなんか不思議だなという気持ちになって。運営委員になって、しばらくは黙っておったのですが。当初の目的がここにあります。女性の教養、男女共同参画の問題。いろんな問題を掲げたこの働く婦人の家。男性も入っていただかないといけないのと違うかと提案させていただいて、じゃあ、男の料理教室から始めようかと。私も夜な夜な見に来ました。自分が提案したものがどういう形になっているのかと。夜遅くに見に来ました。そうしたら、男の人、若い人達から年をとった人達まで沢山みえたのです。3つの層に分かれていました。一つは一生懸命に工夫してプライパンを持って作っていらっしゃる層。それから、皿やとかそういうものをセットしたり、道具を洗ったりする層。扉の外でタバコをふかして、出来るのかな。出来るのかな。もう出来たのかなと待っている層と大体、3つの層に分かれていました。年齢的にみますと、若い方はプライパンでこうやっていました。というような形を見せていただいて、ずっと続けられているわけですけども。

もう一つ、私が提案させていただいたのは、ここの館長さんは歴代、女性の方なんです。男の方もどうですかと言ったのです。1回だけあるんじゃないですか。男の方もいると思います。そういう提案をさせていただくなかで、残念ながらプラザ鈴、残念ながら閉じるといいことになるのですが。開くのは楽しいし華やかですが、閉じるときはどんなことでも寂しいわけです。そういう時に私が居させていただくというのも何かの運命だと思うのですけども。33年という長い月日と、それからここを利用された方。出入された方。この方達が今、いろんなところで、家で、また地域社会で、そして世界中で羽ばたいていらっしゃるとそういうことを喜びとして、この閉館は寂しいのではなくて発展的に解消した閉館であると。それぞれの方達がいろんなところで活躍していただくことをここで祈りをして、そして私は最後の締めとさせていただきたいと思います。

市役所の方、ご苦労さんでした。運営委員さん、御苦労様でした。また、講座の先生方、ありがとうございました。

副委員長

上手くまとめていただきましたので、本当にお忙しい中、来ていただきまして、委員の皆様、事務局の皆様もどうもありがとうございました。以上をもちまして、運営委員会を終了いたします。